

精密・製缶板金で
産業を支える。





Shape all your needs Custom-made precision sheet metal processing.

あらゆるニーズをカタチにする、 オーダーメイドの精密板金加工。

私たちは創業当時より「顧客第一」を掲げ、お客様のニーズに応えるため、さまざまな製品を提供して参りました。「こんな製品を作りたいけど、どうしていいかわからない」というゼロからのご相談でも、長年培った技術力と職人の柔軟なアイデア、さらには他社企業との連携を行うことで、あらゆるご要望をカタチにいたします。設計から取付工事まで一貫して対応できます。まずは気軽にご相談ください。

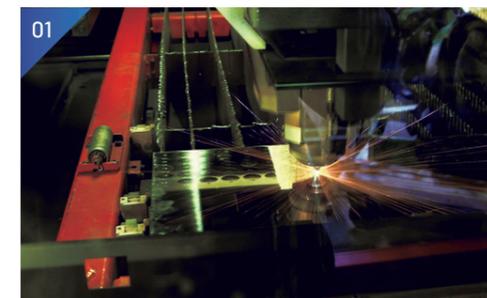
柔軟な発想を活かす、ワンストップソリューション



高精度な加工を実現する、 職人たちの高い技術力

精密板金加工は高精度・複雑な形状が求められるため、その仕上がりは技術者の力量に大きく左右されます。技術力に定評がある当社なら、経験豊富な職人たちによる高品質な金属加工で様々なご要望にお応えできます。

ロット数 1~1000 ヶ	厚さ t:0.4~
素材 鉄 アルミ ステンレス 銅 チタン	最大の大きさ 高さ 3000mm 幅 3000mm 奥行 20m 重さ 3000kg



切断加工

Disconnect Processing

精密板金における金属切断には、様々な方法があります。当社では主にファイバーレーザーでの切断を行うため、板金だけでなく角パイプなどの鋼材の切断も得意としています。切断加工は、板金加工の最初の工程で行われることが多く、品質の高い製品を作るために正しい寸法で切断をしなければいけません。一見、切断加工は簡単に思えますが、加工機械の習得や、経験を積むことで得られる職人技術を必要とする加工工程です。

曲げ加工

Bending Processing

板金を立体化する「曲げ加工」は板金加工において、最も技術的ノウハウが発揮される加工です。当社では、ベンディングマシンを使用し、V字型の金具に板金を押し当てるV曲げを得意としています。V曲げは自由度が高く、技術者の技量次第であらゆる曲げ加工を実現します。単純な曲げ加工は自動化が進む傾向がありますが、当社では、精密な曲げや複雑な曲げを可能とするV曲げ加工を基本とし、日々技術の研鑽に努めています。

溶接加工

Welding Processing

溶接とは、2つ以上の金属あるいは非金属材料を局部的に接合させることです。また、接合部に圧力を加えて接合する場合もあります。MIG溶接、アーク溶接、TIG溶接、ファイバーレーザー溶接等、多様な溶接技術を持ち、成果物に対して適切なアプローチが可能です。当社では、極薄板～厚板までの、鉄・アルミ・ステンレス・チタンの溶接を得意としています。

最新鋭の設備でより高度な加工製作を実現

作業効率化やより高度な製作を可能にする、最新鋭の設備をご紹介します。



ファイバーレーザー加工機

AMADA ENSIS 3015RI



小型形鋼バンドソー

AMADA HKA-400



ベンディングマシン

AMADA HDS 2203NT



バリ取り機

AMADA IBT610II



ハンディファイバーレーザー溶接機

AMADA FLW-1500MT



ファイバーレーザー溶接機

STR-HW450 / STR-HW550



形鋼加工機

AMADA IW45

4軸自動タッピング機	AMADA CTS900NT
アルゴン溶接機	デジタル
CO2溶接機	
3本ロール	
シャーリング	AMADA DCT-2565
フライス盤 / ポール盤 他	

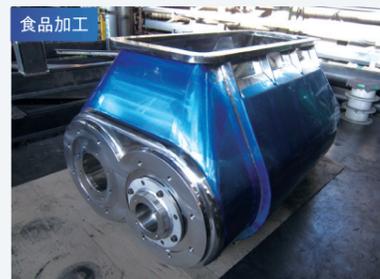
製作実績

加工実績・製作実績の一部をご紹介します。

Instagramにて
製作実績を随時
更新しています!



破砕機械



特殊絞り加工



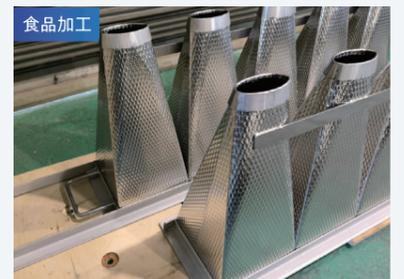
おたま



生産ライン架台一式



大型タンク



エンボスシート

プロジェクト紹介

PROJECT 01 「どこもやってくれない」を実現へ。ロケット開発を支える飽くなき挑戦



クライアント 研究機関
依頼内容 『製造困難』な設計を、試行錯誤によって形にする挑戦

宇宙産業の研究機関より、前例のない無人ロケット製作のご依頼をいただきました。支給されたのは、当初から「形にできるか分からない」と言われるほどの高難度な設計図。1回目の試作では、次工程で破損するという高い壁に直面しました。しかし、私たちはそこで諦めません。失敗を糧に、クライアントと弊社の職人が幾度も議論を重ね、改善を徹底。その結果、2回目には最終工程まで完遂する、高精度な成果物を納品することができました。「できない」と断るのではなく、お客様と並走し、答えを見つけ出す。それがエイユー工業のものづくりです。

PROJECT 02 「設計の想い」を形にする力。試作から実用機へのステップアップ

クライアント メーカー
依頼内容 オリジナル設計の加工機械を製作してほしい

「この図面で本当に動くのか」という不安な状況から、本プロジェクトはスタートしました。支給された図面をもとに、複雑な機構の一つひとつ形にしていきましたが、試作段階では幾多の課題に直面。しかし、私たちはそこでお客様を一人にしません。製造工程の各段階で、図面担当者様と密にコミュニケーションを取り、現場でしか分からない改善案を次々と提案。結果として、お客様の理想を形にした特注機械を完成させることができました。仕様が固まりきっていない段階からのご相談でも、私たちは最後まで「並走」し続けます。



PROJECT 03 オリジナルブランド CANAMONYAの立ち上げ



クライアント 個人顧客
依頼内容 鉄やステンレスを用いた自社製品の開発

コロナ禍を機に、私たちは社会貢献の新たな形を模索し、BtoC 事業への参入を決意しました。長年培ってきた精密板金技術を活かし、自社ブランド「CANAMONYA」を立ち上げ。第一弾として、職人のこだわりを凝縮した焚火台などのアウトドアギアを展開しています。大切にしているのは、作り手の自己満足に陥らない「ユーザー目線」のものづくり。自らフィールドへ足を運び、ユーザーの声に耳を傾けることで、時代のニーズを一步先取りする製品開発に挑んでいます。枠に囚われない挑戦を通じて、人々の暮らしに「板金の新しい価値」を届けていきます。

代表メッセージ

時代に合わせて変化し続け、金属加工で産業を支える。

当社は、常に「顧客第一」「社員重視」の経営理念に基づく企業づくりを目指して参りました。また、企業はいつも顧客や社会に生かされた存在だと信じ、共存共栄に務める所存でございます。

私たちエイユー工業は創業以来、金属加工を主として産業界に貢献して参りました。生産を行うと共に、エレクトロニクス関連を始めとするハイテク技術などにも挑戦しております。定評ある技術に加え、NC 機械などの積極的な導入を図り、さらに高度な加工製作に着手して参ります。そして様々な変化にフレキシブルに即応する企業体質を活かし、求められるあらゆるニーズに独自のノウハウを提供し挑戦し続けて参ります。

この会社案内が、ステークホルダーの皆様と私たちとを結び、エイユー工業をより一層ご理解いただく機会となることを願うとともに、今後も変わらぬご支援をいただきますよう、お願い申し上げます。

代表取締役社長 岡島 永樹

会社概要

社名	株式会社エイユー工業 (Eiyu industry Ltd.)
代表取締役社長	岡島 永樹
設立	平成元年11月1日
所在地	埼玉県比企郡川島町下小見野147-1
TEL/FAX	TEL: 049-297-4718 FAX: 049-297-4758
資本金	1,000万円
従業員数	9名 (令和8年1月現在)
事業内容	製缶加工・精密板金加工 各種フレーム製作・各種製造機械製作 製造ライン製作組立・設計製作・筐体製作 製造付帯設備工事一式

沿革

- 1989 ● 埼玉県比企郡川島町にて、有限会社エイユー工業設立
- 1996 ● 本社敷地内に工場を増設
- 2001 ● 株式会社エイユー工業に組織変更
本社敷地内に工場を増設
- 2002 ● CO2レーザー加工機 / AMADA LCE655 導入
AMADA AP60 導入
- 2006 ● CO2レーザー加工機 / AMADA LC1212NT 導入
- 2007 ● ベンディングマシン / AMADA FBD1253NT 導入
- 2009 ● ベンディングマシン / HDS2203NT 導入
3D CAD SHEET WORKS 導入
- 2018 ● ファイバーレーザー加工機 / AMADA ENSIS3015RI 導入
- 2019 ● 創業30周年
- 2020 ● 本社敷地内に工場を増設
- 2022 ● コーポレートロゴの刷新
- 2023 ● ファイバーレーザー溶接機 / AMADA FLW-1500MT 導入
小型形銅バンドソー / AMADA HKA-400 導入
- 2024 ● ファイバーレーザー溶接機 / STR-HW450/550 導入

